

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

リスクマネジメント講習会報告

リスクマネジメント講習会が8月30日 10:00から13:00まで県民センターで行われ、出席しました。出席者は各ボランティア団体より26名、講師はNPO法人自然体験活動推進協議会の小林幸之助氏です。最初に講義を2時間ほど行い、その後事例に基づきグループ討議、最後にまとめの講義を行いました。内容を報告します。

1. 安全とは何か 災害や事故の発生率が低く、心身や物体に危害が及ぶ恐れがないこと
すなわち、安全とは努力して手に入れる事実を言う
それに対して安心とは災害や事故、心身や物体への危害が予想されず、心穏やかでいること
努力して安全を確保することにより、安心してイベントを行うことができる
安全の3原則 安全第一 自分の身は自分で守る(自守) 規範道徳
2. 事故とはなにか 関連する言葉にアクシデントとインシデントがある。アクシデントはすなわち事故のことで損失を伴う。それに対してインシデントは損失はないが事故の予兆がある。(ヒアリハット)
ハインリッヒの法則 大規模の事故 1件に対して 中規模の事故は29件 小規模の事故は300件
3. リスクマネジメントとはなにか
活動に伴う様々な危険を最小限に抑える管理運営のこと
リスクマネジメントには活動前のポイント、活動中のポイント、活動後のポイントがある。
事例に基づいて、グループ討議を行ったので後で報告する
4. リスクのチェックポイント
人的要因、物的要因、環境要因がある。人的要因とは参加する人の体力、運動能力、行動、意識感情などである。感情が安定しないと事故につながる恐れがある。
物的要因 服装(公園や森に入るときは長そで長ズボンを着用する) 用具(手入れを怠らず)
環境要因 天候 場所、移動(天候が悪いときは中止するなど対策を取る)
5. リスクマネジメント その2
様々なリスクに対して常日頃「措置」をすること 措置とは次のことを言う
組織の設立や活動の目的を再確認する 定期的なスタッフトレーニングと記録 ファーストエイド技能(応急処置)の向上や保険加入 安全管理マニュアルの整備と定期改定 用具部品の点検整備
それに対して処置とは事後処理のこと。措置が大切なのは言うまでもない

事例研究

ケーススタディ 町の公園で一日型の「自然観察会」があります。対象は小学生低学年とその保護者で、20組程度を予定しています。この事業は毎年春秋に開催しており、指導者はベテラン揃いです。主催者として留意すべき事項を上げてください。

グループに分かれて討論した内容を各グループ毎に報告した その内容をまとめた

事前 ①下見をして危険箇所がどこにあるかを把握する ②目的を明確にする ③実施事項の充実 ④手配(20組の参加者に対して何名のスタッフが必要か) ⑤参加者の状態を把握する(アレルギーがあるかどうかなど) ⑥マップを作る

事中 ①服装チェック 食事 トイレの場所の把握 ②点呼スケジュールの共有 ③連絡体制を共有 ④ゴミ処理 現状回復

事後 ①アンケートを実施し、活動を評価する ②ヒアリハットをそれぞれ3つあげる
③今後の留意点をまとめる

最後にエピペンの使い方やアウトドアチャレンジ野外力検定の案内などがありました。

ZFCでは今月作業体験や炭焼き体験が行われます。この研修を受講して、我々の活動がリスクマネジメントの原則に則って行われているかチェックする必要があると感じました。

以上
小島

1. 7月運営会以降の活動実績

- 7月21日(土) 13名 ミズキの池のツバキ5本除伐、製材(ケヤキ短材)、ドラム缶窯改修、ろう学校特別支援準備、運営会
- 7月25日(水) 9名 栄高校体験学習助勢、ドラム缶窯改修、チェンソー整備、木工、
- 7月28日(土) 0名 台風接近のため活動中止
- 8月1日(水) 11名 尾根筋枯れ桜除伐、ドラム缶窯改修、指柱製作他木工、薪作り
- 8月4日(土) 17名 クヌギ林モヤイ整理、駐車場横林内トウネズ除伐、ドラム缶窯改修、午後/勉強会 ロープワーク
- 8月8日(水) 3名 天候不順のため下屋内で木工
- 8月11日(土) 14名 池の上林/クヌギ林除草/手刈り、炭材置き場整理、ドラム缶窯改修、炭材作り、木工
- 8月15日(水) 7名 本窯炭焼き用上げ木作り、ドラム缶窯改修、指標柱加工

2. 連絡、確認、提案

(1)ろう学校訪問報告(吉田)

ZFCスタッフ6名で訪問、生徒さんは17名 他に職員4名 最初に竹とんぼ(大越さん作成)に模様を描く。次に水鉄砲作り。完成後、校庭で竹とんぼを飛ばした。水鉄砲は日陰でペットボトルやスタッフへかけ合った。謝礼1万円を頂く

(2)会計報告(星隈)

預金残高 728,806円 小口現金 76,707円 主な支出は発電機補修費 70,200円 工藤さんよりテーブルの新規購入の説明があった。テーブルのついていないもので6万、あるタイプだと11万 どれを選択するかは役員と相談して決める

(3)2018年度 ZFC年間実行計画(後期)の説明(片岡)

片岡さんより実行計画の説明があった。ほぼ了承が得られたが、たたら関係で若干の修正を行い、掲示板に掲載

(4)友の会 30周年記念事業(関根)

講演会について 10月21日 9:30~12:30 に行われる。ZFCからの参加者を募る予定

記念誌発行について(小島)

10年間の活動、これからの10年間の展望などの執筆依頼が各PJに来ている。10年間の活動については、ZFC通信を基に小島がまとめる。10年間の代表(関根、大越、吉田、谷垣)さんに執筆依頼。これからの10年については会員より提言を募る 9月10日をめどに依頼

(5)ドラム缶窯改修打ち合わせ状況(谷垣)

片岡さんより説明、加工費が予定より増え、9万程度、今月中に納入される予定。取り付けと耐火煉瓦の設置を行い、9月の炭焼に間に合わせる

(6)9/15~9/16(日)本窯、新ドラム缶窯による炭焼きイベント

本窯、新ドラム缶窯炭焼きのまとめ役、スタッフの確認(含、夕食炊事) 本窯のスタッフ 片岡、大越、関根、池澤、星隈(以上泊り要員) 橋本 ドラム缶窯は谷垣、大越 食事は鈴木さんをお願いした。

(7)9/15(土)開催の森の作業体験(間伐)・まとめ役、並びにスタッフの確認

現在1組(2名)の申し込みがある。ほかにたたら関係の参加 スタッフは小島(まとめ役)、藤原、大西、武田(?)

(8)緊急連絡網の見直し(小島)

台風時の連絡に確認が不十分なため混乱をきたした。確認したかどうかは受けた側の問題だとの意見もあり

3. 8、9月 活動予定

- 8月18日(土) 午前/運営会、運営会終了後 ZFC暑気払い
- 8月22日(水) 炭小屋作業/本窯用上げ木作り、ドラム缶窯改修
- 8月25日(土) 竹林整備(炭材用)、本窯炭材作り、ドラム缶窯改修、ZFC通信印刷/発送
- 8月29日(水) 本窯/ドラム缶窯用炭材作り、他炭小屋作業/
- 9月 1日(土) 炭材作り(本窯/ドラム缶窯用)、ドラム缶窯改修(新ステンドラム缶設置)午後/保安全管理
フォローアップ
- 9月 5日(水) 炭小屋作業/炭材作り(本窯/ドラム缶窯用)、
- 9月 8日(土) 本窯/ドラム缶窯炭材詰め、炭焼き用計測器具の確認/調整、
- 9月12日(水) 本窯/ドラム缶窯炭材詰め(予備日)
- 9月15日(土) 森の作業体験(間伐)、本窯/新ドラム缶窯炭焼き、午後/運営会
- 9月16日(日) 本窯炭焼き継続、友の会/定例会・理事会、
- 9月19日(水) 炭小屋作業/ 当日決定
- 9月22日(土) 本窯/ドラム缶窯炭出し、ZFC通信印刷/発送
- 9月26日(水) 炭小屋作業/ 当日決定
- 9月29日(土) 道具整備及炭小屋整理、午後勉強会/PCIによるZFC通信と友の会HP閲覧方法について

以上